

## おだわら

昭和54年

1月

編集・発行 小田原市役所広報課 印刷文進堂

小田原市 萩窪300番地 〒250

昭和29年10月15日 第3種郵便物認可 毎月1日発行1部3円

人口 177,000 世帯 49,619

(12月1日現在)



小田原市長

中井一郎



小田原市議会議長

平塚善治

明けましておめでとうございます。  
輝かしい新春を迎え、我がふるさと小田原の豊かな自然の恵みに感謝するとともに  
市民のみなさまのご健康とご多幸を心からお祝い申し上げます。

顧みますと昨年は、国際的に政治・経済上、多事多端な年でありましたが、我が国  
でも日中平和友好条約の締結やドルの下落に伴う急激な円高相場など、世界の注視を  
集めることの多い一年でした。

殊に円高による経済の動きは、長引く不況の中につけて雇用不安など深刻な社会問  
題を起こすに至りました。

本年は、こうした経済情勢の中で新しい年を迎えたわけで、地方自治体の財政状況  
も依然として厳しい状態にあると言えます。

しかししながら、市民生活に直結した市の行政は寸時たりとも停滞は許されず、身近  
な生活環境の整備や福祉の向上は、市民のみなさまの極めて切実な願いであるため、  
市行政の運営には一段と難しさと厳しさがあるわけです。

本市議会としましても、本市が置かれている現状を直視し、長期的な視野に立つて  
山積する重要な課題に対処しつつ、市民のみなさまの願いが常に行政に反映されるよう  
全力を挙げて努力していく所存であります。

市民のみなさまにおかれましても、明るく住みよい小田原の建設のために、より一  
層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、この昭和五十四年が市民のみなさまにとりまして、豊かで幸せな年であり  
ますようお祈り申し上げまして新年のごあいさつといたします。

新年あめでとうございます。  
お正月の喜びを体いつぱいにして遊ぶ子どもの姿は、健康的で愛らしく、「正月の  
子供に成つて見たきかな」の一茶の句が思い出されます。また、海岸や広場での親子  
そろつての夕揚げや老若男女こぞつての元旦マラソンなど、お正月には市民のみな  
さんの健康で心和やかな姿に接することができますが、こうした人間味と個性豊かな  
小田原をこれからも守り続けていくために、今年は、市民憲章の願いを基調に人と人  
との触れ合いを大切にした「心の通いあうまちづくり」を提唱したいと考えます。

昨年は、新年早々の伊豆大島近海地震に始まって年末の新内閣発足など、激動の一  
年でしたが、こうした中でも本市では、尾崎一雄さんが文化勲章、川崎長太郎さんが  
神奈川文化賞の栄誉に輝かれ、私たち小田原の文化の大きな誇りとなりました。  
そして今年は、その誇りを基礎に昭和五十五年の市制四十周年記念事業として、文化  
都市・小田原にふさわしい教育文化会館の建設と小田原の歩みを語る映画の製作に着手  
する計画です。

また、昨年来の地震対策をみなさんのご協力の下に実施に移すとともに、新清掃工  
場の本格的な操業開始、小田原厚木道路の萩窪インター設置、小田原少年院の移転促  
進、林業構造改善事業の継続実施など、懸案の諸事業を推進し、健康で豊かな、そし  
て温かい心の触れ合う地域社会の実現を目指して全力を傾注していく考えです。  
なお、今年は統一選挙の年に当たりますが、行政参加の意義を十分理解され、大  
切な一票を投じられることをお願いし、あわせて市民のみなさんのご健康をお祈りして  
新年のごあいさつといたします。





## 国指定史跡の早川口遺構

## 史跡公園として開放

### 6月には花菖蒲の名所

市では、このほど南町四丁目にあります国の指定史跡・小田原城跡早川口遺構を保存整備し、史跡公園として新春から市民のみなさんに開放します。

この史跡公園は、在來の地形をそのままに、静かなふんい気の日本風庭園で、遺跡である土壘を壊された文化財を後世に残すすあります。

公園は、約一千八百平方メートルで、その周囲はシノキやクスノキなどの大木が生い茂り、中央の平らな部分には芝が張られ、堀の跡には江戸・伊勢・熊本系など



まだ芝も根付いていないので大切にしてやってください

菖蒲は北村透谷の夫人の生家である町田市の石坂菖蒲園から譲り受けました。

菖蒲を通じて再会し、6月とも

花菖蒲を咲かせてくれる

だらう」などのロマンチックな思

いも込めてつくられた公園です。

この史跡公園の出入口は、国道

三五号下田・小田原線のバス停

留所・早川橋側からが便利です。

子夫人とが、この史跡公園で再び

歩いたことでもあるでしょう。

今、小田原に眠る透谷と美那

は美しい花を咲かせてくれる

だらう

文人の散策路でもあったので、北

村透谷も小田原に帰っていたとき

は歩いたことでもあるでしょう。

「今、小田原に眠る透谷と美那

は歩いたことでもあるでしょう。

6月までに生まれた方です。

一日までに生まれた方です。

四月二日から昭和四十二年四月

月二日から昭和四十八年四月一

月まで、中学校が昭和四十一年

四月二日から昭和四十二年四月

一日までに生まれた方です。

四月の入学準備はいかが

今年四月に入学する児童・生

徒は、小学校が昭和四十七年四





宗教法人 玉宝寺  
天桂山玉宝寺は、曹洞宗香雲寺  
(秦野市)の末寺で天文三年(一  
五三四)後北条氏の家臣并和(は  
が)伊予守が建立したもので、開  
山は香雲寺四世宗梅和尚です。  
このお寺は五百羅漢や十六羅漢  
などを安置しているところから、  
通称「五百のさん」と呼ばれてい  
ます。

内陣狹ましと埋め尽して並列する姿は誠に壯觀だす。  
これは、県下でもまれなもので  
あり、民俗信仰資料として貴重な  
存在です。

○小学校一年生  
遠藤由紀子・古谷登志江・笛原有紀子（城内小）・石井八重子（町田小）

○小学校三年生  
松下朋子・山本智子（町田小）

湯川吉寛（大窪小）・湯山晴美（久野小）

○小学校四年生  
杉崎裕美・福田雅吉（大窪小）

○小学校六年生  
米沢紹矢（西国府津小）・内田准（小）・橋泉（矢作小）

○中学校三年生	鈴木美和子・中山孝子・橋本 子・山下哲(城山中)	浅川 一・沢地誠野地千春(白山中)	高 山梨浩太郎(酒匂中)	大友利香・ 榎子(鴨宮中)	沢真由美(千代中)・尾崎恵 ・布施明子・遠田洋子(国府 中)・山口卓(泉中)	関野 枝(城北中)	藤由紀子さんら 八十人が入選
○中学校一年生	霜島伸子・木村昌史・鞠川郁美 ・今井元・広石治郎・横井千幸 (城山中) 植田広之(白鷗中)	字(下曾我小) 句小) 向尾則昭	字(下曾我小) 津美(下曾我小)	久野小) 府川美惠(報徳小) 熊沢克己(前羽小) 三嶽奈	小沢里惠(下中) 啓・星崎容子・高	湯川清美(山王小) 字(下曾我小)	八 十 人 が 入 選
○中学校一年生	霜島伸子・木村昌史・鞠川郁美 ・今井元・広石治郎・横井千幸 (城山中) 植田広之(白鷗中)	字(下曾我小) 句小) 向尾則昭	字(下曾我小) 津美(下曾我小)	久野小) 府川美惠(報徳小) 熊沢克己(前羽小) 三嶽奈	小沢里惠(下中) 啓・星崎容子・高	湯川清美(山王小) 字(下曾我小)	八 十 人 が 入 選
○中学校一年生	霜島伸子・木村昌史・鞠川郁美 ・今井元・広石治郎・横井千幸 (城山中) 植田広之(白鷗中)	字(下曾我小) 句小) 向尾則昭	字(下曾我小) 津美(下曾我小)	久野小) 府川美惠(報徳小) 熊沢克己(前羽小) 三嶽奈	小沢里惠(下中) 啓・星崎容子・高	湯川清美(山王小) 字(下曾我小)	八 十 人 が 入 選
○中学校一年生	霜島伸子・木村昌史・鞠川郁美 ・今井元・広石治郎・横井千幸 (城山中) 植田広之(白鷗中)	字(下曾我小) 句小) 向尾則昭	字(下曾我小) 津美(下曾我小)	久野小) 府川美惠(報徳小) 熊沢克己(前羽小) 三嶽奈	小沢里惠(下中) 啓・星崎容子・高	湯川清美(山王小) 字(下曾我小)	八 十 人 が 入 選

朝	朝	朝	朝	朝
△コース	大同毛織周辺コース	△コース	大同毛織周辺コース	△コース
△参加資格	小学校四年生以上	△参加資格	小学校四年生以上	△参加資格
方ならだれでも参加できます		方ならだれでも参加できます		方ならだれでも参加できます
○一部	三キロ 小学生・中学生	○一部	三キロ 小学生・中学生	○一部
・一般(高校生を含む)		・一般(高校生を含む)		・一般(高校生を含む)
○二部	五キロ 中学生・一般(	○二部	五キロ 中学生・一般(	○二部
校生を含む)		校生を含む)		校生を含む)
○三部	十キロ 一般(高校生	○三部	十キロ 一般(高校生	○三部
含む)		含む)		含む)
△申込方法	はがきに参加希望	△申込方法	はがきに参加希望	△申込方法

の 生 高 を の ◇ 月二十一日(火)  
申込場所 荻窪三〇〇番地 小  
田原市教育委員会指導部体育課  
◇ 参加料 小・中学生 百円  
一般 一百円  
傷害保険料を含みます。  
◇ その他 完走者全員に完走証を  
差し上げます。

春の婚礼.展

◆とき 1月20日(土)・21日(日)  
◆ところ AM10:00～PM4:00  
◆料金 大型企画料金4,500円

◆ ところ 市民会館本館4・5・6階  
婚礼衣裳、着付と美容、写真、印刷、  
料理、引出物、旅行プラン、その他

市民会館では、結婚式場をご利用される方のために、春と秋の2回展示会を開催しています。挙式を予定される方や市民のみなさんのご来場をお待ちしています。

科目	日 程	内 容 と 講 師	教 材 費 ほ か
ギ タ ー 教 室	1月21日・28日 2月4日・18日 25日 3月4日・11日 18日・25日 31日 (各日曜日・最終日 は土曜日) 午後3時～5時	初心者のための ギターの手ほどき  日本ギタリスト 協会委員長 阿部保夫 ギタリスト 砂川隆一	○用意するもの ギター、足台、譜面台、調子笛(音叉) テキスト500円  ○ギターのない方は初 日にギターの選び方 についての講義があ りますので参考にし てください。
版 画 教 室	1月23日・26日 30日 2月2日・6日 9日・13日 16日・20日 23日 (各火・金曜日) 午後6時30分 ～8時30分	版画の基礎技術 を楽しく学習す る  きつつき会 石塚賢三郎	○教材費 約3,500円 (彫刻刀・バレン・ 版木)  ○その他必要なものは 講師が初日に指示し ます。

市中央公民館では、教育委員会の主催で「ギター」と「版画」の青年教室を開催します。

趣味と学習を兼ねた楽しい講座  
ですので、みなさんお誘い合わせ  
の上、ご参加ください。

◇会場 中央公民館  
◇定員 両教室とも二十人  
◇対象 十六歳以上の市内に

までの午前九時から午後五時まで。

## 青年教室を開催

ギターと版画の

◆申込方法 電話で次の要領で申

# 公共施設見学に 参加して



千代299

尊德記念館

らの利用者も多いのです。一百数十年も経過した誕生の家には所々が補修され、わらぶき屋根には火災予防のためのスプリンクラーが取り付けられ、文化財保護の「苦労がうかがえました。先生は、七十歳で生涯を終えられましたが、幼少時代から生活に恵まれず、十八歳のときには既に、見学を終えました。

ですが、昔から「手本」と唱えられた言葉郎」とも語り伝えられるで、昨年三月に記念館の立てられた全国でも珍しく、「尊徳回村の像」を見学されました。

「いふ邊境  
ゆまぬ勉学  
事業家とし  
残された」  
て学びとん

小田原市では  
たに成人となら  
しての自覚を高  
是非参加ください

、昭和五十四年一月十五日に、新  
れた方の将来を祝福し、社会人と  
めるため成人式を開催しますので  
い。

成人式に参加しましょう！

総合交通規制日	
1月	
14日(日)	15日(月)
16日(火)	26日(金)
27日(土)	28日(日)
2月	
2日(金)	3日(土)
4日(日)	10日(土)
11日(日)	12日(日)

○午前 9時30分	受付開始
○午前 10時	開会
式典	
君が代齊唱	
お祝のことば	
小田原市長	
小田原市教育委員長	
小田原市議會議長	
（記念講演）	
演題「わがふるさと小田原を考える」	
—近代・現代を中心として—	
講師 中央大学教授 金原左門先生	

小田原  
市民会館



